

1. 件名 : 原子力事業者が実施する令和元年度総合訓練の課題対応等の確認について

2. 日時 : 令和元年12月12日(木) 13:30~14:20

3. 場所 : 日本原燃株式会社濃縮・埋設事業所 事務棟 検査官室

4. 出席者 :

原子力規制庁六ヶ所原子力規制事務所

宮本副所長、木村(直)原子力防災専門官

日本原燃株式会社埋設事業部 埋設技術課 主任 他1名

日本原燃株式会社安全品質管理部防災グループ 課長

5. 要旨

日本原燃株式会社埋設事業部(以下「埋設事業部」という。)から、事業者防災業務計画に基づき、令和元年10月29日に実施した令和元年度総合訓練について、訓練参加者及び評価者から提示された意見を元に、埋設事業部が抽出した課題、及びその改善に向けた取り組みについて説明を受け、以下のとおり確認した。

- (1)「ERCプラント班との初動時の伝達内容が不十分」だった件については、埋設事業部 ERC対応班の発話ルールの見直すほか、確認ツールの作成を検討する。
- (2)「事象収束の判断基準の設定が不十分」だった件については、事後対策も含めた考え方を整備する方向で検討する。
- (3)「ERC広報班へ正確なプレス資料が提供できなかった」件については、日本原燃株式会社全社の課題として確認体制の強化及び情報提供フロー・手順の整備を検討する。
- (4)「ERCプラント班への資料配布が遅れた」件については、日本原燃株式会社全社の課題として情報提供フローを見直す方向で検討する。
- (5)その他の指摘事項について、日本原燃株式会社社内における情報共有要領の見直しなどを検討する。

6. その他 :

なし